



眉山のふもとで
毎日のくらしと
名もないドラマが
歴史を作る

私たちはこれからの未来に
どんなドラマを残すのだろうか

私たちは今、
歴史から続いた一筋の道の上

あしたという未来のふもと

ふもと研究会

ふもと人の思い出

ふもと通信を読ませて頂き、改めて眉山の事を思い浮かべるきっかけになりました。私にとっての眉山というのは、もの心ついた時から当たり前そこにあった山で、遊び場であり、また学びの場でもあり、四季の移ろいを感じさせてくれる色々な顔を持つ山です。私が通っていた新町小学校は、まさに眉山のふもとにあり、校庭からよく滑る子供達のお気に入りの場所があり、肝試しさながらに上からざーと滑り降りるスリルを味わっては楽しんでいました。（親は知らぬが

仏）こんな事をしながら自然と危険回避とバランス感覚を養っていったのです。又休みの日には、先生と一緒にクラス全員で新聞紙を硬く折たたんで作った刀を持ち、眉山の頂上に登り（その時代頂上は一面熊笹に覆われていた）ちゃんばらごっこをして遊んだ思い出が楽しく鮮明に記憶に残っています。と書きましたが、本当は「ふもと通信」を読んだから思い出した記憶です(笑)。こんな思い出一杯の眉山も普段はそこにあるだけの山なのですが、いったん地元を離れるとこんなに懐かしい山はありません。若い頃数年東京で暮らし、帰省する度（昔は橋が無かったので船で帰っていたのですが）徳島に近づき船上から夕日に染められた眉山のシルエットが見えてきだすと、毎回涙がじんわりと出てきたものでした。行く時には出ない涙が。

はんの龍江堂 赤松伊佐子さん



記事・情報
募集!

みなさんからの、眉山に関する記事や情報をお待ちしております！眉山にまつわる昔話、お勧めの登山道、四季折々の自然など、みなさんが日ごろ感じていることなども添えてお寄せ下さい。Webや「ふもと通信」などでご紹介させていただきます。また「ふもとなかま」も合わせて募集しています。情報収集や、イベントなどに一緒に参加して下さる方「ふもとなかま」に入りませんか？



発行・編集：『ふもと研究会』 徳島大学 常三島キャンパス 4号館 1F 学生支援室内
Tel/Fax : 088-656-7299 担当光永 Email : mitunaga@ias.tokushima-u.ac.jp

この「ふもと通信」を
置かせてくれる場所、
配っていただける方を
募集しています！



情報の巣箱より

わたしと麓

ふもと

vol. 06

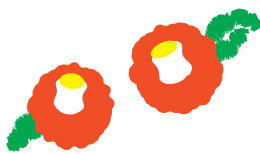
眉山、万葉の時代から人々から愛された山、文学芸術にも幾度となくとりあげられ、人々の生活にも、豊富な水流に恵まれ、数々の湧水が銘水として親しまれてきた。また、眉山山麓には数々の神社仏閣が営まれ人々の悠久の地ともなっている。

しかし、私にとって、眉山を知ろうとするほどに、自分の無知さに突き当たるばかりだった。今回の拙文を書くにあたり、いくつかの課題を設定してみたものの、悉く未解決になってしまった。自宅のあるしらさぎ台が眉山山麓に連なっていることを知ったのも驚きであったが、眉山山麓の湧水群のことや、歴史や宗教との関係などを解説した文献に辿り着けなかったのも予想外であった。これで拙文は終了したが、更なる勉学の必要を痛感した次第である。徳島は奥深い！

平良全栄 (たいら ぜんえい)



▼眉山で撮影したツバキの花です



※平良さんのコラムは今回で終了です。ありがとうございました。次回よりアロマテラピースクール「カラザ」金森弘華さんのコラムをお届けします。

学生支援室だより

No6

毎週、毎月…継続して行っている自主講座が多数ありますが、季節ごとに『星空観賞会』などの大きなイベントも随時開催されています。そのひとつが『洋字字幕翻訳コンテスト』。

これは企画発案、準備、先生方への依頼、広報…ひとりの学生さんの頑張りが成功へと導きました。昨年12月に第1回目を実施。好評を博したこの企画の第2回目が現在進行中、先週から応募が始まっています。それに先立ち、この映画を観たことのない方のために、5月6日(木)上映会を行いました。作品はキアヌ・リーブス主演『イルマール』。映画を観賞してくれた方の中には、涙を拭う姿も…感動の中終了した上映会の感想をご紹介します。`日本語を考えるきっかけにもなるし、洋画を観ることで手軽に異文化に触れることもできるし、一石二鳥、`以前から字幕翻訳に興味があり、参加したいと願っていた、`英語がもっと好きになりそう、`映画の選択もよいし、すごくいい企画。これからもずっと続けて欲しい、`などなど、評価するお声を多数いただき、大変喜んでおります。

もちろん映画そのものを楽しんでいただけたのなら主催者側としては満足なのですが、こんな声も多いのが気が掛かります。コンテストに参加しない理由として`英語に自信がないから、`翻訳は難しそうだから、`という意見。確かに『英語』『翻訳』というと、ハードルの高さを感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、ですがこの企画は英語が好きの方、得意な方のためだけにあるものではありません。そんな私も『英語』と聞くと、萎縮してしまう方。しかし、前回辞書を片手に参加させていただき、英語のおもしろさを改めて知ることになりました。苦手だから…なんて参加を見送るのはもったいない！ぜひぜひ挑戦してみてください!!応募は5月19日(水)まで受け付けています！

HPがリニューアルしました！

学生支援室 Tel:088-656-7205 HP :<http://w3.ias.tokushima-u.ac.jp/sgp>



第1回目の授賞式の様子

